

普及活動情勢報告（令和7年3月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

農福連携を推進しよう！ ～四万十町農福連携協議会（第3回）を開催～



今後の取組について、活
発な意見交換が行われた

2月27日に四万十町農福連携協議会を開催し、福祉関係事業所や関係機関合わせて12名が出席しました。

普及所から令和6年度の活動実績と令和7年度の事業計画を説明した後、農福連携アドバイザーから県外での取組事例について情報提供がありました。

参加者からは、「施設外就労に向けて、福祉事業所と農家をつなげる取組ができないか」「農家へのPRをもっとできないか」など、活発な意見交換ができました。

普及所は、農福連携の推進に向けて、農家へのアンケートやマッチング支援を継続して行っていきます。

新たな露地品目の取組推進 ～JA高知県四万十白ネギ研究会・設立総会～



県外産地への視察研修

3月12日、生産者4名とJA高知県高西地区、四万十町、普及所担当が出席し、四万十白ネギ研究会の設立総会が開催されました。

令和6年度に40aで行った試作では、品種選定、施肥設計、栽植様式、育苗・本ば管理、出荷調製、市場担当との協議など、栽培から販売までの一連の取組を皆で協議し、試行錯誤しながら何とか出荷に至りました。

総会に参加した生産者からは、「メンバーや作付面積を増やしていきたい」「会員が増えたら課題も出てきそう」など、様々な声が聞かれました。

令和7年度は、作付面積の拡大や関連機械の導入等も検討されており、普及所では関係機関と連携し研究会への支援を継続します。

ほ場の様子を確認しよう！ ～JA高知県四万十ニラ部会アドバイザー巡回～



熱心な意見交換を実施

3月中・下旬に、JA高知県四万十ニラ部会のアドバイザー巡回がのべ7回開催されました。

この取組は部会の篤農家を営農アドバイザーとして位置づけ、JA営農指導員、普及指導員と共に全生産者(50戸)を巡回し、栽培管理について意見交換を行うものです。

生産者からは、「ハウスの換気のタイミングが分かった」「かん水量を増やしていった方が良い」など栽培改善に向けた意欲的な声が聞かれました。

普及所は、引き続き関係機関と協力して高品質なニラの安定生産を支援します。